

人・街・ながた 震災資料室ニュース

2006. 8. 17

人・街・ながた震災資料室

発行人 寿 広文

編集人 武川泰恵・藤原美紀

寅さんが繋ぐ「語り部」活動

「寅さんが全国の皆さんをどの様にお迎えするのだろうか」「葛飾・柴又と長田の街を繋ぐ糸は何か」……いよいよ阪神淡路大震災の記録展が近づいてきた。

まずは神戸・長田の紹介である、つづいて大震災の説明と解説そして復興に向けて歩み続けてきた長田の人々の10年間の足跡を見て頂く。避難所日誌、新聞、ビラ、チラシ、焼け焦げた米、航空写真など3万点を展示する。

OHPでスライド

県立文化体育館での展示はアートギャラリーで資料室の写真、チラシなどの資料をスライドで見ていただく企画だ。展示する資料は文化体育館と蓮池小学校を基本にして市民球場（現蓮池公園）が仮設住宅になっていたので関連資料も展示する。

小・中学生へPR

区内の各学校では震災教育が熱心に取り組まれているが今の高学年の児童は震災の年に生まれた子ども達だ。「語り部」として参加してもらう為に学校長などに協力依頼を働きかけていく。なお、文化体育館ではバスケット競技が予定されている。

— DVD 上映 —

神戸市職員が

写した 1・17

9月30日ー 10月2日

上映10時、11時、14時、15時

県立文化体育館 小ホール

— 私たちも参加します —

華道部（区役所職員サークル）

— 松月堂古流 —

炊き出し用の大釜

—— 地 獄 釜 ——

95年 1月17日から蓮池小学校で避難してきた人々にお腹と心にぬくもりを与えてきた直径80センチの釜が当資料室に保存されている。一昨年の初春、校庭の隅に雨ざらしになっていた粗ゴミになるのをお預かりした。

当時、蓮池小学校では2000人以上の方が避難されており避難者の把握、食料や衣類・ミルクの配付や救急医療など混乱を極めていた。

そんな状況であっても朝の掃除や消毒などで挨拶を交わすうちに少しずつ気にも知れ「地獄釜」を沸かす火の周りが情報交換や雑談の場となっていた。

日誌を見ると3日後にリーダー会が開かれ 1) ペット 2) トイレ 3) 物資の受け入れ 4) 喫煙などについて話し合われている。医療チームは厚生省の国立病院チームで医師4人、看護師3人、薬剤師1人、事務官2人の構成だった。校区内の被害は全、半壊2800件で火災も多く発生し区内で被害の大きい地域であった。

寅さんロケ座談会

2006・8・22 於：震災資料室

出席者 寅さんを迎える会 三浦さん、南さん
神院大生 広瀬、足立、田口、水本
震災資料室 清水

《清水》今日のご多忙の所、お集まりをいただきありがとうございます。早速ですが、寅さんの48作目紅の花のロケについて、寅さんを知らなかった学生のみなさんとお話を伺いたいとおっしゃっています。まずは、いきさつ・経過について南(NANN)さんからお話をおねがいします。

《南》震災時52才で細田町でケミカルをしていた在日韓国人2世です。'95年2月20日頃、会員会館でケミカル関係の大きな集会があった。3月15日に「神戸シューズ復興協議会」を立ち上げて、三浦さんと大学の先生らと復興について話をしていたら、それを聞いていた小島先生が「長田は寅さんが似合う街やな」とおっしゃられた。これがきっかけです。

《清水》その後、山田監督にお手紙を出されたり・・・。

《三浦》5月26日に山田監督が明石に来られるので資料を持ってお会いしに行きました。監督は「今回はもう無理なので次の作品でしたい」とのことで、私もそれで良いと思っていました。

《南》ところが毎日新聞の(夕刊)が6月5日頃に長田ロケを記事にしてしまった。そしてこの記事を読んだくらべかりー(石倉べかりー)が喜んで監督に手紙を出した。この石倉さんの手紙に感激して山田監督が長田ロケを決意したのが真相です。8月8日に新聞記事となり、私たちは「寅さんを迎える会」を発足させ多くのボランティアが集まってきた。それは「長田に元気を」の一点で活動した。

《学生》ロケ地が菅原市場に決まるのは？

《南》松竹の営業の方も一緒にパラル・権現さん(須磨区)・鷹取、現地を見て回った。鷹取の焼野原になった所に車を停めて降りた目の前に仮設の「さくら」の名前の喫茶店があった。監

督はこの店をみて「これも縁かな」と小声で言われた。結局は菅原になった。

《学生》「いしくらべかりー」について教えてください。

《南》空き地になっている所に仮設を建てたところ24日に地主が現れて、その際、事情を説明したら了解をもらった。またパン屋の内装は六間道のパン屋へ行き借りてきた。この時も「これも要るやろ」と、いろいろ貸してくれた。

《三浦》菅原になったのは、大阪方面から長田に入った時に、最初に目に入るのが菅原だった。当時マスコミも取り上げていた。

《南》映画の中に当時の村山首相が映っているシーンがある。これも問題にならず、後で首相が「僕も出ているのか」と喜んでくれた。寅さんの関係は全てうまくいった。

《学生》渥美さんの状態はどうだったのでしょうか。

《三浦》体調を崩されていて、女性が傍にいて、椅子を用意したりしていた。会話をする元気も無く、ハラハラする状況だった。監督がまず演技をして「渥美さん、さあ」と言う。2回やり直したあげ^ただった。

演技に入るともう映画の寅さんになっている。南大門(スタッフが利用した焼肉店)にいる時は、たぶん横になられていたと思う。

《南》私は「寅さん自身は山田監督だったと思う。演技を渥美さんがしていた」

《清水》話は尽きませんが時間がきました。この震災資料室に寅さんコーナーを作りたいと思っています。今後ともよろしくお願いします。今日はありがとうございました。

